

## 2024年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社五健堂

上場取引所

東

コード番号 9146

URL <https://www.gokendo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蓮尾 拓也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 不破 洋伸

(TEL)075(612)6688

中間発行者情報提出予定日 2024年9月27日

配当支払開始予定日 2024年9月6日

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期中間期の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	5,236	20.8	290	9.2	315	△15.1	152	△37.0
2023年12月期中間期	4,335	15.9	265	△7.0	372	4.5	241	29.5

(注) 中間包括利益 2024年12月期中間期 146百万円(△39.5%) 2023年12月期中間期 241百万円(29.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	117.62	116.86
2023年12月期中間期	186.68	185.45

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	12,503	3,538	28.3
2023年12月期	11,019	3,417	31.0

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 3,538百万円 2023年12月期 3,417百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	10.00	19.00	29.00
2024年12月期	10.00		
2024年12月期(予想)		-	-

(注) 2024年12月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	10,866	19.6	714	28.7	695	4.2	415	12.4	320.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 (中間期) : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期中間期	1,295,000株	2023年12月期	1,295,000株
2024年12月期中間期	—株	2023年12月期	—株
2024年12月期中間期	1,295,000株	2023年12月期中間期	1,295,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、過去最高水準ともいわれる企業収益や雇用・所得環境等の改善を背景として、穏やかな回復基調が継続している一方で、引き続き円安基調等を主因とした物価高騰の影響や不安定な国際情勢等による先行き不透明感が拭えない状況が継続することとなりました。

そのような環境下における当社グループの業績につきましては、前述の経済環境に基づき、比較的堅調に推移した個人消費の影響や運送単価の上昇、更に当連結会計年度の期初に子会社が事業譲受により、新しく2つの営業所を開設したことによる上乗せもあり、前年同期比で20.8%増の売上を確保することが出来ました。

一方で収益面につきましては、燃料費・電力費等エネルギー関連費用の高止まりやその他の広範囲に亘る物価上昇の影響を受けるとともに、引き続き備車費用の増加や労働力不足補完のための派遣社員の投入増加等が利益の圧迫要因となっております。それに加えて前中間連結会計期間に特殊要因である補助金受領があったこと、および当中間連結会計期間に前述の子会社の事業譲受に係る支払手数料が発生したこと等が前中間連結会計期間との比較における減少要因となっております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は5,236,542千円（前年同期比20.8%増）、営業利益は290,085千円（同9.2%増）となったものの、上記の減少要因により、経常利益は315,871千円（同15.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は152,314千円（同37.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ①総合物流マネジメント事業

総合物流マネジメント事業につきましては、上述のとおり、運送単価の上昇、当連結会計年度の期初にセグメント内の子会社が、事業譲受により2営業所を新たに開設した分の上乗せ等もあり、売上については堅調な推移となりました。しかしながら、利益につきましては、上述のとおり各種値上りによる諸経費の増加や備車、派遣費用の増加等が利益を押し下げることとなりました。

この結果、セグメント売上高4,316,553千円（同23.7%増）、セグメント利益210,648千円（同6.0%減）となりました。

#### ②フード&サービス事業

フード&サービス事業につきましては、(株)F&Sのコメダ珈琲部門がコロナ禍からの脱却に伴い業績が回復してきたことを主因として、全体としても堅調な業績推移となりました。

この結果、セグメント売上高919,989千円（同8.7%増）、セグメント利益79,436千円（同90.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ458,630千円増加し、3,964,726千円となりました。これは主に、「現金及び預金」が481,292千円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,024,934千円増加し、8,538,688千円となりました。これは主に、「建物及び構築物」が313,785千円、「土地」が373,310千円増加したこと等に伴い、有形固定資産が912,482千円増加したことによるものであります。

その結果、当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,483,565千円増加し、12,503,415千円となりました。

## (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ414,724千円増加し、2,930,205千円となりました。これは主に、「一年以内返済予定の長期借入金」が286,979千円、「賞与引当金」が39,094千円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ947,151千円増加し、6,034,370千円となりました。これは主に、「長期借入金」が765,684千円、「リース債務」が39,541千円増加したこと等によるものであります。

その結果、当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,361,876千円増加し、8,964,576千円となりました。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ121,689千円増加し、3,538,838千円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴い「利益剰余金」が127,709千円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ505,086千円増加し、2,166,441千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は751,614千円であります。税金等調整前中間純利益325,358千円に対し、減価償却費(のれん償却を含む。)382,901千円が主な増加要因であり、一方、利息の支払額14,465千円、法人税等の支払額154,631千円等が主な減少要因となっております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1,194,260千円であります。支出の主な要因は、事業譲受による支出1,150,311千円、有形固定資産の取得による支出57,976千円、定期預金の預入による支出36,200千円等であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は947,732千円であります。主な増加要因は、長期借入金の借入による収入1,535,000千円、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出482,336千円等あります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国の経済環境につきましては、直近ではやや景気回復の足踏み状態がみられておりますが、旺盛な企業の投資意欲や良好な雇用環境等を背景として、基本的には引き続き穏やかな回復が継続することが見込まれております。その一方で欧米各国の高金利政策の継続に伴う影響や中国経済の行き詰まり等による海外景気の変動が、日本経済の下振れリスクになるとの見方もあり、不透明感が拭えない状況で推移するものと思われま

す。そのような環境下ではありますが、当社グループにつきましては、主力である総合物流マネジメント事業を核として、増収増益を実現するべく引き続き積極的な事業展開を図ってまいります。

各セグメント別の見通しとして、総合物流マネジメント事業については、2024年1月1日付でセグメント内子会社の(株)六ツ星運送において、事業譲受により伊勢原営業所(神奈川県)と小牧営業所(愛知県)を取得し稼働を開始しております。両営業所ともにほぼ計画通りの売上推移となっており、グループの売上増加に寄与することは確実なものと考えております。但し、初年度につきましては、M&A関連費用の支出と時価ベースで受け入れた資産の償却等があるため、利益面での貢献については来年度以降になるものと判断しております。

また、設備投資としては、来年7月からの稼働を計画している「第8物流センター」について、当連結会計年度の着工を予定しております。常温倉庫と冷蔵設備を備えた延床面積8,193.59㎡の物流センターとなっており、稼働開始に伴い業績伸長に大きく寄与するものと考えております。

もう一つのセグメントであるフード&サービス事業につきましても、コメダ珈琲部門のコロナ禍からの脱却に伴い、売上高で前期比108.7%、営業利益で同190.7%と好調に推移しております。それに加えて、本年9月に好立地であるコメダ珈琲樟葉駅前店の新規出店を計画しており、引き続き順調な業績推移を見込んでおります。

これらを踏まえ、2024年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高10,866,523千円(前連結会計年度比19.6%増)、営業利益714,368千円(同28.7%増)、経常利益695,898千円(同4.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益415,061千円(同12.4%増)を予想しております。

なお、経済状況の見通しについては、現時点における当社の予想及び仮定を前提としております。そのため、不確実性を内包しており、今後の業績、財務状況等につきましては、様々な要因により変動する可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,211,507	2,692,799
受取手形及び売掛金	993,551	966,915
棚卸資産	101,607	92,919
その他	204,179	216,342
貸倒引当金	△4,750	△4,250
流動資産合計	3,506,096	3,964,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,008,144	4,321,930
土地	2,062,570	2,435,880
建設仮勘定	2,893	8,906
その他(純額)	524,801	744,174
有形固定資産合計	6,598,409	7,510,891
無形固定資産		
のれん	260,080	297,910
その他	20,827	23,556
無形固定資産合計	280,908	321,467
投資その他の資産	634,436	706,329
固定資産合計	7,513,753	8,538,688
資産合計	11,019,849	12,503,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	407,128	422,372
短期借入金	500,000	450,000
一年以内返済予定の長期借入金	719,307	1,006,286
リース債務	57,707	76,361
未払法人税等	161,379	200,780
賞与引当金	48,908	88,002
その他	621,049	686,400
流動負債合計	2,515,480	2,930,205
固定負債		
長期借入金	4,406,813	5,172,497
リース債務	202,360	241,901
退職給付に係る負債	74,876	83,467
資産除去債務	270,568	290,001
その他	132,600	246,503
固定負債合計	5,087,218	6,034,370
負債合計	7,602,699	8,964,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,500	496,500
資本剰余金	470,000	470,000
利益剰余金	2,450,649	2,578,359
株主資本合計	3,417,149	3,544,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△6,020
その他の包括利益累計額合計	—	△6,020
純資産合計	3,417,149	3,538,838
負債純資産合計	11,019,849	12,503,415

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## ①中間連結損益計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,335,255	5,236,542
売上原価	3,220,720	3,981,719
売上総利益	1,114,535	1,254,823
販売費及び一般管理費	848,870	964,738
営業利益	265,665	290,085
営業外収益		
受取利息	32	24
受取配当金	289	288
保険解約収入	913	240
為替差益	—	115
補助金	80,000	—
燃費補償	—	10,110
事故保険金	6,931	9,225
その他	34,008	23,953
営業外収益合計	122,175	43,958
営業外費用		
支払利息	13,952	15,959
為替差損	1,620	—
その他	192	2,212
営業外費用合計	15,765	18,172
経常利益	372,076	315,871
特別利益		
固定資産売却益	15,071	9,552
その他	0	—
特別利益合計	15,071	9,552
特別損失		
固定資産除却損	0	65
特別損失合計	0	65
税金等調整前中間純利益	387,147	325,358
法人税、住民税及び事業税	162,678	194,394
法人税等調整額	△17,287	△21,351
法人税等合計	145,390	173,043
中間純利益	241,756	152,314
親会社株主に帰属する中間純利益	241,756	152,314

## ②中間連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	241,756	152,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△6,020
その他の包括利益合計	—	△6,020
中間包括利益	241,756	146,294
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	241,756	146,294
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	387,147	325,358
減価償却費	218,587	330,534
のれん償却	51,363	52,366
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,664	△921
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,071	39,094
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,770	8,591
受取利息及び受取配当金	△322	△313
支払利息	13,952	15,959
固定資産売却益	△15,071	△9,552
固定資産除却損	0	65
為替差損益 (△は益)	1,620	△115
保険解約収入	△913	△240
補助金	△80,000	-
売上債権の増減 (△は増加)	197,234	26,636
棚卸資産の増減 (△は増加)	32,477	8,688
その他資産の増減 (△は増加)	116,565	27,169
未払消費税等の増減 (△は減少)	△62,361	80,057
未払費用の増減 (△は減少)	△48,301	15,244
前受収益の増減 (△は減少)	16,595	△33,107
資産除去債務の増減額 (△は減少)	2,231	2,367
その他負債の増減 (△は減少)	△56,691	22,156
小計	774,292	910,037
利息及び配当金の受取額	316	307
利息の支払額	△11,629	△14,465
補助金の受取額	80,000	-
法人税等の支払額	△181,703	△154,631
法人税等の還付額	579	10,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	661,855	751,614
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△41,200	△36,200
定期預金の払戻による収入	64,149	60,000
無形固定資産の取得による支出	△2,433	-
有形固定資産の取得による支出	△562,140	△57,976
有形固定資産売却による収入	52,474	9,975
保険積立金積立による支出	△18,569	△17,068
保険積立金解約による収入	2,503	870
事業譲受による支出	-	△1,150,311
その他	△1,749	△3,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△506,965	△1,194,260

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金 (純額)	10,000	△50,000
長期借入金の返済による支出	△411,930	△482,336
長期借入金の借入による収入	462,000	1,535,000
リース債務返済による支出	△11,509	△30,326
配当金の支払による支出	△23,310	△24,605
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,250	947,732
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	180,140	505,086
現金及び現金同等物の期首残高	1,432,823	1,661,354
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,612,963	2,166,441

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、以下の2事業を報告セグメントとしております。

セグメント区分	主要業務
総合物流マネジメント事業	食品等の物流業務、メール便業務、物流センター運営、倉庫事業及び事務所、テナント等の賃貸事業、タイヤ販売
フード&サービス事業	コメダ珈琲店及びファミリーマートの運営、BOSS CLUB（ゴルフ練習場・飲食店・リラクゼーションサロン）の運営、マンション等の賃貸事業

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの損益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格等に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	総合物流 マネジメント事業	フード& サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,488,889	846,366	4,335,255	—	4,335,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,166	8,098	49,265	△49,265	—
計	3,530,056	854,465	4,384,521	△49,265	4,335,255
セグメント利益	224,006	41,659	265,665	—	265,665
セグメント資産	9,351,041	1,107,212	10,458,254	—	10,458,254
セグメント負債	6,357,950	797,705	7,155,655	—	7,155,655
その他の項目					
減価償却費	224,455	45,495	269,951	—	269,951

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	総合物流 マネジメント事業	フード& サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,316,553	919,989	5,236,542	—	5,236,542
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,353	6,998	46,352	△46,352	—
計	4,355,907	926,987	5,282,894	△46,352	5,236,542
セグメント利益	210,648	79,436	290,085	—	290,085
セグメント資産	11,326,962	1,176,452	12,503,415	—	12,503,415
セグメント負債	8,184,032	780,543	8,964,576	—	8,964,576
その他の項目					
減価償却費	341,961	40,939	382,901	—	382,901